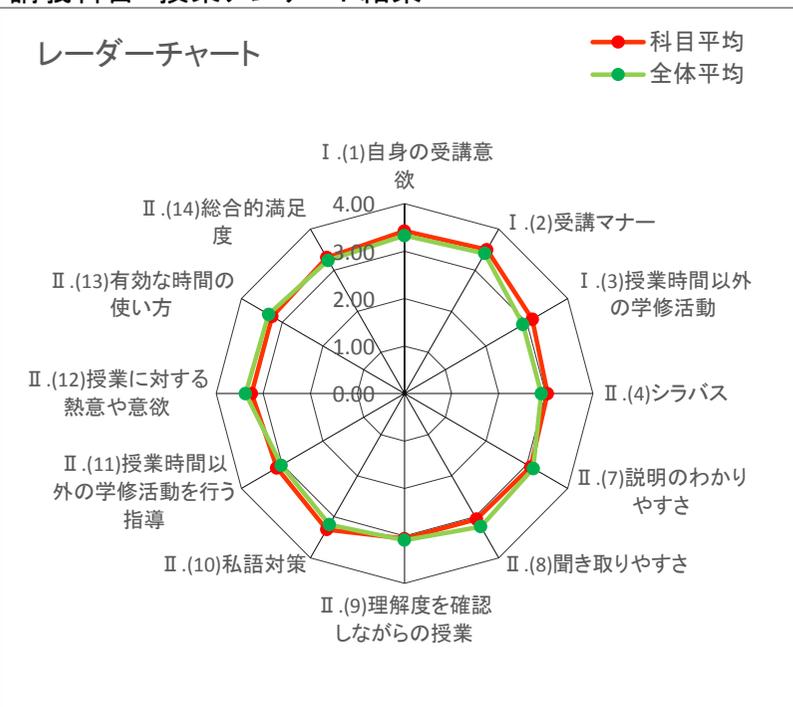
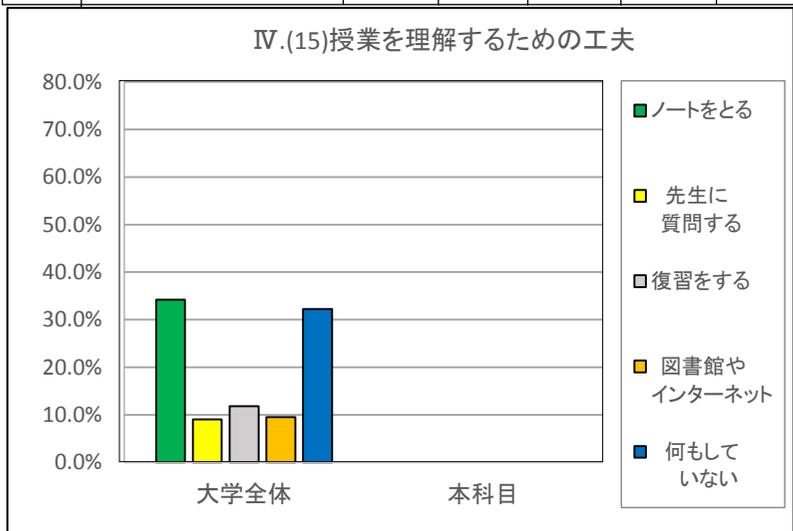


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	52203
科目名	老年看護学概論
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.42	3.33
	I.(2)	3.50	3.41
	I.(3)	3.13	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.04	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.10	3.16
	II.(8)	3.06	3.24
	II.(9)	3.06	3.09
	II.(10)	3.31	3.19
	II.(11)	3.13	3.03
	II.(12)	3.25	3.38
	II.(13)	3.25	3.33
満足度	II.(14)	3.31	3.24

①授業計画の達成度について
 学生は自分が何を学ばなければいけないか理解・認識できなければ授業が受けられないと考えている。そのため、全体の、あるいは毎回の授業目的は書面で伝えるようにしている(シラバス、各授業の資料で)。授業はシラバスに沿って行っている。今年は、領域のコア会議により講義項目の調整を行い、一部変更があった。

②授業の進め方について
 声・言葉については、講義を行うようになってから継続している課題である。授業の後の出席表のミニレポートで理解の程度を確認している。教員の対応できる授業環境の調整はできていると考える。学生の授業満足度(設問12.13)は全体平均より低い。高齢化、高齢者を内容にする科目であるだけに、特に概論ではその基礎となる内容なので、生命の誕生や発達・健康回復より、衰退・喪失・終焉を含めた内容になる。その中で、興味を持たせることが重要と考え講義を進めている。今後も、老年看護のなかに楽しみを見いだせる内容を工夫したい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 本学で初めての授業自己評価であり参考とする課題はなかった。しかし、毎回の授業感想から、また中間授業評価から資料やスライド、口調についての具体的意見を、参考にして授業改善に取り組んだ。学生にとって看護師国家試験の老年看護学に関する知識を獲得できる、あるいは知識の獲得の方法がわかり実行できる、ことを目標に、学生の理解を助ける授業改善を考えたい。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.35	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.15	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.31	3.24
III.(14)		